

# 組合だより

【 第304号 令和元年10月 日本羊腸輸入組合 】

## 理事会等

○9月の理事会開催はありませんでした。

## 事務局

○農林水産省国際衛生対策室を訪問し、貿易統計輸入統計細分の追加・豚腸に関するEU各国との家畜衛生条件の現状・パキスタン等の加工保管施設の指定状況等について意見交換を行いました。

○厚生労働省輸入食品安全対策室を訪問し、スペインの羊肉等対日輸出プログラムの進捗状況について確認しました。

○日本ハム・ソーセージ工業協同組合の加工資材等安定確保対策事業に係るスペイン現地調査に関連し、同組合等との打合せを行いました。

○9月25日に開催された（一社）日本食肉加工協会創立80周年記念式典及び日本ハム・ソーセージ工業協同組合創立70周年記念式典に、当組合を代表し川村理事長が出席しました。

○天然腸輸入報告統計8月分のとりまとめと9月分の報告依頼を行いました。

○社会保険・労働保険の電子申請義務化を踏まえ、厚生労働省委託事業者から電子申請の基本対応について聴取しました。なお、当組合は2020年4月の義務化対象事業者には該当していません。

○賦課金未納組合員に対し納付督促を行いました。

○「HACCPの考え方を取り入れた衛生管理のための手引書」（案）のとりまとめを行いました。

統計

\*統計の詳細は組合ホームページで御確認下さい。

【財務省貿易統計】

平成31年8月の天然ケーシング輸入量は、次のとおりです。

- ・総輸入量 373.1t(前月比+25.4t、+7.3%/前年同月比△3.9t、△1.0%)
- ・中国原産 265.6t( // +48.2t、+22.2%/ // +30.6t、+13.0%)
- ・豪州原産 29.3t( // △13.4t、△31.3%/ // △24.0t、△45.1%)
- ・NZ原産 69.4t( // △5.1t、△6.8%/ // △9.4t、△12.0%)

【ソーセージ生産量（日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べ）】

平成31年7月のソーセージ生産量は、次のとおりです。

- \*ソーセージ類合計生産量 : 27,480.7トン(前年同月比:101.8%)
- ・ウィンナーソーセージ : 19,894.9トン( // :104.6%)
- ・フランクフルトソーセージ : 3,543.8トン( // :91.1%)

HP更新内容（統計関係を除く）

- 厚生労働省からの「平成30年度輸入食品監視指導計画に基づく監視指導結果及び平成30年度輸入食品監視統計の公表について」の情報提供
- 経済産業省からの「外国元首・祝賀使節等の来日に伴う交通対策への協力について」の周知依頼

参考情報・お知らせ

- 9月25日に開催された（一社）日本食肉加工協会創立80周年記念式典及び日本ハム・ソーセージ工業協同組合創立70周年記念式典において、日本ハム・ソーセージ工業協同組合理事長の協力企業に対する感謝状が、対象64社を代表して川村通商(株)川村代表取締役社長に贈呈されました。他に感謝状を贈呈された当組合員は次のとおりです。

(株)アークジャパンフーズ	(株)アートケーシング	(株)昌栄
新亜細亜貿易(株)	伸晃九州ケーシング(株)	東都貿易(株)
ナチュラル・インターナショナル(株)	西日本ケーシング(株)	(株)日昌トレーディング
ひかり食品(株)	(株)マックス	(株)松永商會
(株)リュウホク		

○新たな外国人材受入れ制度

飲食料品製造業の特定技能1号の在留資格取得のための試験実施日程が一般社団法人外国人食品産業技能評価機構（OTAFF）のHPに掲載されました。また、一般財団法人食品産業センターのHPでは、特定技能1号技能測定試験の受験に必要な学習用テキストが掲載されています。試験問題はこのテキストの範囲から出題されるとのことです。

○アフリカ豚コレラ

9月17日、韓国京畿道の農場において、同国で初めてアフリカ豚コレラの発生が確認されました。

東アジアでのASF清浄国・地域は、日本と台湾のみです。



今後の主な予定

○10月19日(土)～22日(火)

INSCA Semi Annual Meeting (クアチア)

○10月30日(水) 令和元年度第2回理事会

○11月 5日(火) 創立記念日 (臨時休業)

○11月 5日(火)～9日(土)

加工資材等安定確保対策事業のスペイン市場調査

以上